

平成二十五年 度 学 力 検 査

A
国 語

(九時三十分～十時十五分、四十五分間)

問 題 用 紙

注 意

- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
- 三、問題は、**1** から **6** までで、六ページにわたって印刷してあります。
なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に別紙1、裏に別紙2が印刷されています。
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄に**受検番号**を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の①～⑧の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。(八点)

- ① 海外からの留学生を歓迎する。
- ② 飛行機が伊勢湾上空で旋回する。
- ③ 自転車で緩やかな坂道を上る。
- ④ はやる気持ちをおさえて試合会場へ赴く。
- ⑤ 栄養バランスのよい食事でけんこうを保つ。
- ⑥ 金メダルの獲得をしゅくふくする。
- ⑦ 南極大陸はあつい氷に覆われている。
- ⑧ 毛糸でセーターをあむ。

2

別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十四点)

- (一) 傍線部分①「恵美菜が急に遠ざかった気がした」とあるが、なぜ美月は恵美菜が急に遠ざかった気がしたのか、転校が決まったときの美月の心情にふれて、本文中の言葉を使って五十五字以上六十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)
- (二) 漢字を行書で書くとき、楷書と異なる筆順で書くことがある。次の漢字は、本文中の二重傍線部分①～④をそれぞれ行書で書いたものである。これらの漢字の中には、楷書と異なる筆順で書いてあるものが一つある。その記号を書きなさい。

Ⓐ 出 Ⓑ 何 Ⓒ 楽 Ⓓ 書

- (三) 波線部分①～④の中には、品詞が他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。
- (四) 傍線部分②「恵美菜、恵美菜みたいな友だちなんて、もう二度とできないよ」とあるが、この一文を朗読するとき、どのように工夫して朗読すればよいか、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。
 - ア、少しづつ声を大きくしながら、堂々と読む。
 - イ、ささやくようにして、静かな調子で読む。
 - ウ、リズムをつけて、はずんだ調子で読む。
 - エ、落ち着いた声で、力強い調子で読む。
- (五) 傍線部分③「今日帰ったら、手紙を書こうと思った」とあるが、美月が恵美菜に手紙を書こうと思えるようになったのはなぜか、これまで美月が手紙を出すことができなかった理由にふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。

別紙2の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十一 点)

(一) 傍線部分①「わから」は動詞であるが、その活用の種類と活用形の組み合わせとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、五段活用——未然形
イ、五段活用——連用形
ウ、上一段活用——未然形
エ、上一段活用——連用形

(二) 傍線部分②「しかしながら、このような発想の根幹を揺るがすような問題が、最近この地球上のあちこちに生じてきた」とあるが、その結果として、人々の考え方はどのような考え方に変化してきたと筆者は述べているか、「　」という考え方に「　」につながる言葉を本文中から四十字で抜き出して書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(三) 傍線部分③「人類に利益をもたらすという視点から、樹木の大切さについて書いてきた」とあるが、筆者がこのような視点から樹木の大切さを述べている段落はどこから始まっているか、本文中の段落[A]、[D]から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

(四) 文中の に当てはまる言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。また、その言葉を選んだ理由を説明した、あとの の文の() に当てはまる言葉を書きなさい。

- ア、つまり
イ、だから
ウ、しかし
エ、しかも

文中の の、前に書かれている事柄と、あとに書かれている事柄の関係が、() であるから。

(五) この文章の内容に合うものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、樹木は、美しい花やおいしい果実など五感で感じることでできる実益や、冷却能力など半永久的な機能面のはたらきを人類に与えるから、今後も樹木の恩恵にあずかるために、自然を征服し続けなければならない。

イ、一本の樹であっても、人類にさまざまな利益をもたらすとともに命ある生き物でもあるから、私たち人間の営みに邪魔だからといって、むやみに伐らせずに、未来の名木の一本として扱うという視点も大切である。

ウ、一本の樹の影響は所有者にしか及ばないから、所有者の判断で伐採してもよいが、大量の若木が環境に与える影響は広く地球全人類に及ぶものであるから、その伐採については社会全体で判断するべきである。

エ、若木は大量に存在しているから、邪魔になったときには排除してもかまわないが、さまざまな困難を乗り越えて名木となった樹だけは、命ある生き物として、畏敬の念を持って大切に扱わなければならない。

(次のページへ)

次の新聞記事は、生き物に興味を持っているかおりさんが切り抜いた記事である。この新聞記事を読んで、あとの各問いに答えなさい。(五点)



親鳥とともに確認されたトキのひな(右下)
=新潟県佐渡市 22日(環境省提供)

環境省は22日、新潟県佐渡市で放鳥した国の特別天然記念物トキのペア1組からひなが誕生したと発表した。ひな1羽が確認され、親鳥がひなに餌を与える様子も見られた。放鳥トキからひながかえったのは初めてで、国内の野生でトキの卵のふ化が確認されたのは、1976年以来36年ぶり。

- A** 環境省によると、トキのひなは体長約20センチ、体重は約150グラムで、生後1週間程度とみられる。巣を撮影した無人カメラの映像で、親鳥から餌をもらうひなの姿が確認された。
- B** 親鳥は佐渡市の佐渡トキ保護センターで生まれ、2011年3月に放鳥された3歳の雄と2歳の雌。このペアは今年3月16日に巣を作り、同月17日に産卵したとみられていた。今月13日からふ化の徴候があったという。環境省は、巣の近くに設置したカメラが11日に故障したため、22日早朝に再びカメラを設置し、同日午前6時15分の映像にひなが映っているのを確認した。
- C** トキは江戸時代には全国的に生息していたが、乱獲や環境悪化などにより生息数が急速に減少した。1981年に佐渡島で生息していた5羽を捕獲して人工繁殖を試みたが失敗し、2003年に日本産のトキは絶滅した。その一方で中国から贈られたトキによる人工繁殖に成功。トキの野生復帰に向けて、2008年から5回にわたって計78羽を放鳥するなどの取り組みが進められていた。
- D** ひなは通常、生後40日ほどで、親鳥とほぼ同じ1800グラム前後の大きさに成長し、巣立ちするとされる。佐渡島内には現在、放鳥トキ44羽の生存在が確認されており、このうち15組のペアが巣を作っている。繁殖期が6月まで続くことから、今後もひなの誕生が続く可能性がある。

(環境省Webページおよび新聞各紙の記事を参考に作成)

(一) この新聞記事の [] には、記事の見出しが入る。この記事に付ける見出しとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ウ、	ア、
<p style="text-align: center;">環境省 22日発表</p> <p>待ちわびた地元万感 佐渡</p>	<p style="text-align: center;">環境回復裏付け</p> <p>佐渡 トキのひなを確認</p>
エ、	イ、
<p style="text-align: center;">放鳥トキ ひな誕生</p> <p>野生で36年ぶり 佐渡</p>	<p style="text-align: center;">36年ぶりの快挙</p> <p>佐渡 天然記念物 トキの放鳥</p>

(二) 次のカードは、かおりさんが、この新聞記事の本文の各段落 A ～ D の要点をまとめて、本文に記されている順に並べたものである。C のカードの「日本産トキの絶滅と、」に続けて、 [] に当てはまる言葉を二十字以内でまとめて書きなさい。(句読点も一字に数える。)

A	B	C	D
無人カメラで確認されたトキのひなの姿。	親鳥の状況と、ひなが確認されるまでの経緯。	日本産トキの絶滅と、	ひなの通常の成長の様子と、今後のひな誕生の可能性。

(次のページへ)

次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(六點)

【書き下し文】

子路(注1) 。子曰(注2)はく、「己を修めて以て敬す。」

と。曰はく、「斯のごときのみか。」と。曰はく、「己を修めて

以て人を安んず。」と。曰はく、「斯のごときのみか。」と。曰

はく、「己を修めて以て百姓を安んず。己を修めて以て百姓

を安んずるは、堯・舜も其れ猶ほ諸を病めり。」と。

【現代語訳】

子路は君子がするべきことを質問した。先生がおっしゃるには、「自分を磨いて慎み深くすることだ。」と。(子路が)申し上げることに、「そうするだけですか。」と。(先生が)おっしゃるには、「自分を磨いて周囲の人を安心させることだ。」と。(子路が)申し上げることに、「そうするだけですか。」と。(先生が)おっしゃるには、「自分を磨いて多くの人民を安心させることだ。自分を磨いて多くの人民を安心させることは、堯や舜でさえも苦労なされたことだ。」と。

(『論語』より)

(注1) 子路——孔子の弟子の一人。

(注2) 子——先生。ここでは孔子のことを指す。

(注3) 堯・舜——古代中国で理想的な政治を行ったと言われる、伝説上の帝王。

(注4) 君子——徳の高い、理想的な人格者。

【訓読文】

※原文(白文)に句読点、返り点、送り仮名をつけた文章。

子路問ニ君子。子曰、「修レ己ヲ以テ

敬。」曰、「如レ斯レ而已乎。」曰、「修レ己ヲ以テ

安レ人。」曰、「如レ斯レ而已乎。」曰、「修レ己ヲ

以テ安ニ百姓ヲ修レ己ヲ以テ安ニ百姓ヲ堯・舜

其レ猶ほ病レ諸。」

(一) 文中の に入る書き下し文を書きなさい。(書き下し文の送り仮名は、歴史的仮名遣いで書く。)

(二) 傍線部分「百姓」とあるが、ここでいう「百姓」とは何を意味するか、【現代語訳】から抜き出して書きなさい。

(三) 波線部分「そうする」とあるが、「そうする」とはどうすることか、その内容を【訓読文】から五字で抜き出して書きなさい。(句読点、返り点、送り仮名は省略する。)

6

次は、こうへいさんと、さおりさんの会話の一部である。この会話を参考にして、「公園にゴミ箱を置かないこと」に対するあなたの考えや意見を、あとの〔注意〕にしたがって書きなさい。(六点)

こうへいさん 最近、家の近くの公園のゴミ箱が撤去されたんだよ。

さおりさん それは不便だね。どうして、公園のゴミ箱は撤去されたのかな。

こうへいさん 公園のゴミ箱については、「置くほうがよい」、「置かないほうがよい」、それぞれに考え方があるようだよ。

〔注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたの考えや意見と、その根拠を明確にして書きなさい。
- ③ あなたの考えや意見が的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方が正しい、全体を百六十字以上二百字以内にまとめなさい。